

## 令和元年度 伊集院中学校 学校教育目標

① 夢や目標をもち、②未来を切り拓く、③心豊かな ④たくましい生徒の育成

学校教育目標を具現化していくための取組とは・

### <学校長としての考え>

#### ① 夢や目標をもたせるために

##### ○ 学級担任としてこうしてほしい。

- ① 夢や目標をもつことのすばらしさや、大切さについて子供たちに感じ取らせることができるようなしかけ（教師自身の語りや身近な人の話：成功や失敗、挫折、道徳の教材など）をし、子ども心に火を付ける。
- ② これまでの自分を振り返り、「できている自分」「できていない自分」を知り、「もっともっと成長したい」、「変わりたい」と思うようなしかけをする。

##### ○ 教科担任としてこうしてほしい。

- ① 教科の授業の中で、その教科（教科に関わる内容等）を極め、自分の夢や目標を達成した人（職業人）の話や自分の仕事をとおして仕事のやりがいをもっている人を紹介するなど、「学ぶことの喜び」や「学ぶことの大切さ」について伝える。
- ② 授業を実践する中で、まず「学習目標」を設定し、子どもと共有することが大切。その後、学習課題を解決するための見通しをもたせ、チャレンジさせる。その後、「わかった（理解できた）」実感を味わわせ、学習目標の達成感を感じさせる。その後も、その都度、目標を立てることの大切さを感じ取り、目標と立てていく習慣化につなげていく。
- ③ 教材等の内容（学習）をとおして、夢や目標をもつことの素

晴らしさや大切さを感じ取らせる。

- ④ 学んでいることが、今後生きる力につながることを感じさせ、授業への意欲を高める。何のため学ぶのか。「分からないことにチャレンジし、努力すれば分かるようになり、できることを知り、今後も更に挑戦し、目標を達成しようとする気持ちをもたせる。

## ② 未来を切り拓くことができるようにするために

### ○ 学級担任としてこうしてほしい。

- ① まず今の自分の「できているところ」「できていないところ」を知り、これから先の自分をどのように成長させていくかについて、具体的に考え（イメージ）させる。
- ② 様々な課題に挑戦するとき、どのように挑戦すべきなのか「その手立て（見通し）」について具体的に考えさせる。
- ③ うまく行かないとき、どうするのか。どうすればあきらめずチャレンジ（努力）し続けることができるのかを考えさせる。
- ④ 未来を切り拓いた人の話（そこに至るまでの苦悩等）について聴かせる機会をもつ。（誰しも壁にぶつかることはある。）

### ○ 教科担任としてこうしてほしい。

- ① 授業の中で、課題を設定し、その課題に挑戦させる機会をつくる。（見通しを立て、自分で考え、挑戦してみる。そして振り返りを行う。）
- ② 教材をとおして、未来を切り拓く「勇気」やその努力、達成した時の喜びなどを共感させる。
- ③ 課題解決学習に取り組む

### ③ 心豊かな生徒になるために

#### ○ 学級担任としてこうしてほしい。

- 思いやりのある優しい生徒とは一体どういう人のことか、自分なりの考えをもたせる。あなたが思う、思いやりがあり、優しい人とは（誰？、どういう人）などとイメージさせる。
- 感動する機会（行事や本との出会い）をもち、その気持ちを記録として残す。（振り返らせるために・・・あの時思った気持ちを）
- 道徳の授業をとおして、自分の考えをしっかりとめるとともに、他の人の考えを知り、これまでの自分を振り返らせる機会をもつ。多くの価値観を知り、よりよく生きていこうとする意欲や態度を育む
- 対立する意見の中で、相手の思いや立場を考え、折り合いを付けていこうとする態度を育てる。

#### ○ 教科担任としてこうしてほしい。

- 授業をとおして友達の見解を聞き、共感する態度を身に付ける。
- 自分の思いを伝えられる場面を多くつくり、周囲の友達と意見交換等できる機会を多くつくる。
- 互いに協力し合う、助け合う学習の機会をつくる。
- 心が温かくなるような教材、内容を取り入れる。
- 互いを認め合い、褒め合う関係づくり。

#### ④ たくましい生徒になるために

##### ○ 学級担任としてこうしてほしい。

- 心（精神力）と体（耐力）を身に付けるためのしかけをおこなう。
- 失敗から学び、再度挑戦した人の話など、めげない、あきらめない気持ちをもたせられるような教材を活用する。
- 自分が仮に否定されても、なぜ、否定されたのか、まず自分自身を冷静に振り返られる「タフ」な気持ちをもたせる。
- 自分で考え、判断し、行動できる力を付ける。
- みんなの意見を聞き、とりまとめることができる力、合意形成を積極的に行える人になれるよう努力する。
- 苦手なことから逃げない。苦手だからこそチャレンジし、今よりも一歩前に進めるよう努力する。
- 自分でできないと思った時は、一人で考えず、周りの力も積極的に取り入れられるような社交性、社会性を身に付ける。

##### ○ 教科担任としてこうしてほしい。

- 難しい課題にチャレンジさせるとともに、できない時は、あきらめず、友達にでも「教えて」と遠慮なく聞き、何が何でも解決しようとする強い気持ちをもたせる。
- 「できる」が「本当にできるのか？」に自問自答でき、自ら更に難しい課題に挑戦しようとする気持ちをもたせる。
- 検定試験等への積極的な挑戦
- 自分が分かることを他の人に伝えられるようにできる。（スモールティーチャーとして積極的に活動できる。）
- 課題に対して、まず見通しをもたせ、課題解決に向けあらゆる方法を考えさせる。一つの方法でできない場合は、また別な方法を考えさせ、粘り強く取り組ませる。